

子ども向け副読本には、「まちづくりとは、まちのよいところは伸ばして、困りごととは何とかしよう」と取り組みごと、こんなまちになったらいいなと思うて行う活動のこと」と書かれています。授業では、例えば、青パトや公園の草刈はどうしてやっているのか、具体的に地域の方の言葉で伝えていきます。また「みんな力を合わせて、できることから取り組んでいこう。中学生になったら、防災訓練などで活躍を期待しているよ。」とエールを送っています。

まちづくりとは何か



「楽しく学ぼう"まちづくり"」自治基本条例子ども向け副読本
「安全・安心」、「環境」、「まちの自慢」、「ふれあい」をテーマにマンガをまじえて、高浜市のまちづくりのことをわかりやすく解説



高浜小学校では、子どもたちが、自分たちでできることは何かを考え、防災マップをつくることになりました。まちづくり協議会の方に協力していただき、いっしょにまち探検。標高が低いところ、危険な場所、避難所はどこかなど、自分の住んでいるまちを、大人も子どもも確認する機会に。子どもたちが作成した防災マップは、6年生から下の学年に伝えられ、そして地域へといかされています。

まちづくりの実践 まち探検で気づく



中川 勝利さん(呉竹町)

自治基本条例の素案の検討時代から
現在のまちづくり出前授業の実施まで携わる

この出前授業は、「小さなまち」という高浜市の強みをいかした取り組みだと自負しています。「大きなまち」では、小学校や地域自治の組織が多数あり、行政がとりまとめることは難しいでしょう。他市で、この取り組みについて話をする機会がありましたが、うらやましがられました。今後も、出前授業を継続的に行って、子どもたちと地域の人たちがともにまちづくりを考え、互いに学び合う機会になることを期待しています。どんどんまちづくりの輪が広がるといいですね。



平成27年度高浜小学校6年主任

野村 尚之先生

日ごろから、登下校の見守りやおまつり、高小デーなど、地域の方たちと子どもたちがふれあう機会があるのは知っていましたが、出前授業を行うことで、さらにまちのことを知ることができました。また、子どもたちが総合学習で学んでいる「防災」についても、学びを深めることができました。「高浜カリキュラム」は、地域の方たちと交流を深めながら、高浜市のよさを学ぶプログラムになっています。その中で、子どもたちが課題解決に向けて考え実践することで、「子どものまちづくり」の第1歩につなげていきたいと考えています。

